

## ◆令和8年度制度改善内容(総合評価落札方式)

No	項目	改善内容	理由	適用時期
1	実績確認型における加算点の計算方法の見直し	設計金額2億円以上の場合の計算式を、愛媛県に準じて新たに設定。	大型入札案件において、企業の施工能力を適正に評価するため。	令和8年6月11日以降に入札公告を行う工事から適用
2	試行要領において、簡易型総合評価落札方式によらないことができる条項を追記	緊急性が高い工事、早期の復旧が望まれる工事等、簡易型総合評価落札方式の対象外とできる場合の条件を明示。	総合評価落札方式の入札・契約事務に係る職員の負担軽減を図るため。	令和8年6月11日以降に入札公告を行う工事から適用
3	「生産性向上の取組(ICTの活用)の評価項目の新設	土木一式工事における設計金額1億円以上の工事の場合に、当該工事で行うICT活用について評価する。(ICT全面活用と部分活用を同一評価)	ICTの活用に対する受注者の取組意欲を高め、普及促進を図るため。	令和8年6月11日以降に入札公告を行う工事から適用
4	「若手技術者等の育成」の評価に係る適正な履行の確保の取扱いを変更	出産や育児等のやむを得ない理由により、当該工事では配置することとしていた若手技術者を配置できなくなった場合、工事成績評定点の減点対象外とする。	担い手不足や従事者の高齢化進行等の問題が顕在化する建設業界において、若手技術者等の雇用確保に向けた取り組みを促進させるため。	令和8年6月11日以降に入札公告を行う工事から適用
5	「災害対応等の実績」の評価内容及び評価基準の見直し	<p>「土木一式工事」、「建築一式工事」、「舗装工事」及び「管工事」において、以下の内容について評価</p> <p>①宇和島市との「災害協定の締結」                  ②過去2か年度の災害協定等に基づく応急対策業務の実績                  ③過去1か年度の災害ボランティア活動の実績</p> <p>※上記見直しにあわせて、評価項目を「災害対応等への協力体制及び実績」に改める。</p>	<p>宇和島市との協定に基づく災害対応等の準備に相応の負担を要している業者を適正に評価するため。</p> <p>受入数に制限のある災害ボランティア活動における一部業者の持ち点化を防ぐことにより、入札における公平性の確保と競争性の向上を図るため。</p>	令和8年6月11日以降に入札公告を行う工事から適用